



ハッピーテラス通信

令和4年6月号

ハッピーテラスキッズ柏ルーム

04-7193-8205

kids-kashiwa@happy-terrace.com

新型コロナウイルスの感染が再度拡大しております。
ハッピーテラスでは、引き続き感染対策に十分に努めて参ります。

1 お知らせ

※ 新任職員紹介

6月1日付 柏ルーム 配属

児童指導員

山本 朱音

よろしくお願いいたします。

2 職員からの推薦図書

題名 「おひげのポン」
著者名 かなざわまこと
参考価格 1,430円(Amazon)
推薦者 岡野 葉子(柏ルーム)



おひげがトレードマークの犬、名前はポンちゃん。今日もポンちゃんは困っている人を助けにいきます。ポンちゃんのからだを張った助け方に、思わずクスッと笑えて、最後は心がぽっとあたたかくなる癒しの1冊です。

3 6月の追加ご利用可能日程

スポットで追加利用される場合にご参考ください。

(記号：○・・・空がございます △・・・若干名の空がございます)

※ 先着順となりますので、指導員までご相談ください

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
10:00					X	△	△		△			X	△	○	
11:15					X	△	○		○			X	△	○	
13:00					X	○	○	△	○	△		X	○	○	○
15:00					X	△		△				X	△		△
16:15					X			△				X			

日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
10:00	△			X	△	○		△			X		△		△
11:15	○	○		X	△	○		○	○		X		○		
13:00	○	△		X	○	○	△	○	△		X	△	○	△	
15:00				X	○		△				X	△		○	
16:15				X			△				X				

集団コースの空き状況（通期での参加をお願いしております）

月曜15:00 ソーシャルスキルコース 空いております
水曜13:00 幼稚園準備コース 空いております
金曜15:00 小学校準備コース 若干名空いております
土曜10:00 ソーシャルスキルコース 若干名空いております

4 おうちでキッズコーディネーション！

～かかししょうそう～

難易度★☆☆☆☆

ねらい

- ・自分の体をテンポよく動かしたり、人の動きのテンポをまねしたりする
- ・体幹（腹筋背筋）や下半身の筋力を強化する
- ・体をタイミングよくスムーズに動かす

準備物

- ・周りに物が無い環境で実施します

進め方

- ① 保護者は子どもと立ったまま正対します。
- ② 「かかし！」、「ペリカン！」などの掛け声とともに両手を広げ、ポーズを取って片足で立ちます。
- ③ 「どっちが我慢できるかな？」などの掛け声で、なるべく姿勢をキープしてもらいましょう。

保護者が時々負けてあげると盛り上がります。

- ★ 幼児の場合は、片足立ちをすること自体が難しい場合が多いです。最初は保護者が手をつなぎ、片足を上げます。子どもに、片足で保護者の足にタッチしてもらうことで、片足立ちそのものの練習をしましょう。

YouTubeに参考動画をあげています。ぜひご活用ください。

本トレーニング動画は、YouTubeにてハッピーテラスのご利用者様に対し、限定公開されたものです。ハッピーテラスのご利用者様以外の方にURLをお知らせされないようお願いいたします。

動画のQRコードはこちら！



5 新型コロナウイルスについてのハッピーテラスキッズ柏ルームの取り組みについて

厚生労働省より、「マスクの着用の考え方及び就学前児の取扱いについて」発信がありました。

それを受け、ハッピーテラスキッズ柏ルームでは、以下のように対応させていただきます。

- 入室時、非接触体温計での検温と、健康チェックの記入をお願いいたします。
- 入室後の手洗いの徹底と、必要に応じたアルコール消毒をお願いいたします。
- 保護者様のマスクの着用は継続してお願いいたします。（お子様の着用は任意とさせていただきます。）
- 従業員の毎朝の健康チェックと、定期的な検査の実施を行います。
- 児童入れ替えの際には、換気と次亜塩素酸ナトリウムを使用した消毒いたします。
- 従業員は、マスクの着用を継続して実施いたします。

※37.5℃以上の発熱がある場合や、風邪の諸症状、体調に不安のある方は、ご利用をご遠慮いただく場合があります。

※別途、熱中症対策として、適宜水分補給をいたします。ご利用の際には水筒などご持参ください。



6 療育コラム 「行動分析学の行動の考え方について①」

私達の行動は、何故起こるのでしょうか？

意識しているか、そうでないかに差異はあるものの、生き物の全ての行動には必ず理由が存在します。

そして、行動する事で、何らかの結果が得られます。

これを単純に表すと…

きっかけ	→	行動	→	結果
(行動前どうだった？)		(どんなことをした？)		(行動したらどうなった？)

という流れになります。

この一連の流れを、三項随伴性と呼びます。

簡単に申し上げると、きっかけと行動、そして結果の間には、結びつきがある、という事です。

そして、行動が起こる頻度には、どんな結果が得られたかが大きく関係してきます。

基本的に行動の結果、良い事があれば、その行動の頻度は増えるし、悪い結果が起きれば、その行動の頻度が減少する事は、想像し易いのではないのでしょうか？

このメカニズムを用いて、良い行動の頻度を増やしたり、良くない行動の頻度を減らしていく事が応用行動分析の基本的なアプローチとなります。

ここからは少し応用行動分析の用語を紹介していきたいと思います。

行動の頻度が増える事を【強化】、行動の頻度が減る事を【弱化】と言います。

また、行動の結果、起こる良い事を【好子】、逆に行動の結果、起こる嫌な事を【嫌子】と呼びます。

これらを踏まえた上で、【強化】と【弱化】には、それぞれ2種類が存在しています。

1つ目は【好子出現の強化】。

これは、【お手伝いをした結果、お小遣いがもらえた】というように、行動に付随して好子が得られたため、次回以降もお手伝いをしたら好子（今回の場合はお小遣い）が得られるのではないかと、という気持ちから、お手伝いをする、という行動が促進されている状態です。

これとは別に【嫌子消失の強化】というものもあり、こちらは読んで字の如く【先に宿題をすると、先生や親から叱られないから、すぐに宿題に取り組む】というように、行動に付随して、先生や親から叱られる、という嫌子が無くなるため、罰を回避する目的で行動が促進される、という状況となります。

同様に、弱化にも【嫌子出現の弱化】と【好子消失の弱化】の2種類があります。

前者は【ふざけていたら注意を受けた】というように、ある行動の結果、嫌な事が起こり、その結果、行動が減少する、という状況となります。

後者は【お手伝いをしたが、以前はもらえていたご褒美がもらえなくなったので、お手伝いをしなくなった】というように、ある行動の結果、今まであった良かった事が無くなった事で、その結果、行動が減少する、という状況となります。

以上が【強化】と【弱化】、その種類に関する基本情報となります。

応用行動分析では、行動を増やす事が目的か、減らす事が目的か、そのような好子や嫌子が出現しているかなどの状況に応じて、どの方法を使っていくかを選択して実施していきます。

今回は、実際の場面を交えた事例を踏まえて、どの部分にどうやって介入していくかを御伝えしていきたいと思います。